

<概要>

- 1日、中米・欧州連合（EU）連携協定が発効した。
- 7日、ルイス・レドンド国会議長は、独立した憲法裁判所を創設する法案を国会に提出した。
- 20～22日、中国とのFTA締結に向けた第5回交渉ラウンドが開催された。

<本文>

1 外交

（1）中米 EU 連携協定の発効

5月1日、中米・欧州連合（EU）連携協定が発効した。中米側はホンジュラス、グアテマラ、エルサルバドル、ニカラグア、コスタリカ、パナマが加盟している。

（2）メキシコによるホンジュラス産養殖エビの輸入再開

5月7日、メキシコ当局がホンジュラス産エビの輸入再開を決定した。ホンジュラスの主要輸出産品である養殖エビの対墨メキシコ輸出は、台湾に次いで2番目の規模を誇る。今年1月24日以降、メキシコ当局は、検疫上の問題及びエクアドル産エビが三角貿易でメキシコに流入しているとの理由から、ホンジュラスを含む中米からの養殖エビの輸入を差し止められており、早期輸出再開が期待されていた。

（3）中国との第5回 FTA 交渉ラウンドの開催

5月20～22日、中国とのFTA締結に向けた第5回交渉ラウンドが開催され、フレディス・セラート経済・開発大臣と Yu Benlin 中国・外国貿易省局長が出席した。

（4）ホンジュラス外務省とファーウェイとの協力覚書締結

5月22日、ホンジュラス外務省は、デジタル改革の協力、相互利益に関する対話・訓練・交流・協力を促進するため、ファーウェイ・テクノロジーズ・ホンジュラスと覚書を締結した。この協定はレイナ外相と Wu Yu ファーウェイ・ホンジュラス代表によって署名された。

（5）レイナ外相によるライースィ・イラン大統領等の逝去に対する追悼表明

5月22日、レイナ外相は、自身の SNS で、ライースィ・イラン大統領及びアブドラヒアン同外相の逝去に対する追悼の意を表明した。

（6）6月末のサンパウロ・フォーラム開催発表

5月23日、ヘラルド・トーレス外務筆頭次官は、EFE 通信に対して、マヌエル・セラヤ失脚クーデターの15周年の枠組みで、6月27～28日にホンジュラス国内で、サンパウロ・フォーラムを開催

すると伝えた。また、6月29日に、プエブラグループの会合も開催されると発表した。

2 内政・経済

(1) 憲法裁判所創設法案の提出

5月7日、ルイス・レドンド国会議長は、憲法最終的な解釈を行う機関として、現在、司法府の憲法院に与えているのと同じ権能を持つ憲法裁判所の創設を目的とした法案を提出した。

(2) フローレス・グループ社長の墜落死

5月25日、自動車販売（トヨタ車販売がメイン事業）を中心に事業を行い、昨年創業100周年を迎えたホンジュラスを代表する老舗企業の1つであるフローレス・グループ社長が搭乗していた小型セスナ機が墜落し、翌26日に死亡が確認された。

(3) ドライ・キャナル拡大構想（大洋間鉄道建設計画）に向けての政府の取り組み

ア 5月17日、エクトル・セラヤ大統領私設秘書官兼太平洋間鉄道建設国家委員会委員長は、フランスの実業家団体と会談し、ドライ・キャナル拡大構想（大洋間鉄道建設計画）について話し合った。

イ 5月23日、エクトル・セラヤ大統領私設秘書官兼太平洋間鉄道建設国家委員会委員長は、ドライ・キャナル拡大構想（大洋間鉄道建設計画）の推進を目的に、ルイス・レドンド国会議長を含む国会理事会と会談した。

(4) 次期大統領選挙における自由党候補者の現状

ア 5月27日、マルロン・ララ議員（自由党）は、次期大統領選挙における自由党候補者として立候補する意向を表明した。

イ 5月29日、マリベル・エスピノサ PSH 副党首は、次期大統領選挙における自由党候補者として立候補する意向を表明した。

(5) 社会保険庁（IHSS）長官の辞任

5月27日、カルロス・アギラル社会保険庁（IHSS）長官は、政治的支援が得られなかったことを理由に同職を辞任した。

(6) ビジャヌエバ治安次官の国外避難

5月29日、ラジオ局の取材にて、ビジャヌエバ治安次官は、自身への脅迫を理由に国外避難したことを明らかにした（場所不明）。なお、治安次官の職を辞任することや他国への亡命申請はしていない模様。

(7) 不法資金流用疑惑による所有権省 (IP) への強制捜査命令

5月30日、カストロ大統領は、自身の SNS で、所有権省 (IP) が住宅建設、広告、社会事業の名のもと180億レンピラ以上の不正資金を流用しているとした上で、同省への強制捜査を命じたと発表した。同様に、国会承認後に10億レンピラを超える同省の違法支出があり、現在調査中であると発表した。

(8) デング熱感染者増加による国家非常事態宣言

5月31日、保健省は、デング熱感染者増加による国家非常事態宣言を発表した。同宣言により、ホンジュラス国内の指定された保健所や診療所がデング熱患者の病棟として利用される。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2024年		
	4月	3月	2月
インフレ率 (前年同月比)	4.84	4.76	4.50
貿易収支 (百万ドル)	—	—	—
輸出 (百万ドル)	—	—	—
輸入 (百万ドル)	—	—	—
外貨準備高 (百万ドル)	7,187.7	7,144.6	7,334.0
外国からの送金 (百万ドル)	—	—	—
為替レート (対ドル月平均)	24.79	24.79	24.79

(出典：ホンジュラス中央銀行)

※貿易収支、輸出入、外国送金に関する公表された直近の数値 (2023年12月分) は、貿易収支 (▲6,040.2百万ドル)、輸出 (11,382.7百万ドル)・輸入 (17,422.9百万ドル)、外国送金 (8,946.3百万ドル) である。

(了)